

日本社会分析学会ニューズレター

2021年3号 [2021年9月22日発行]

発行：日本社会分析学会事務局

〒753-8511 山口市吉田1677-1

山口大学人文学部 桑畑研究室内

編集責任者：桑畑 洋一郎（事務局長）

Tel: 083-933-5242 (研究室直通)

E-mail: sasa@jsasa.org

ホームページ: <http://jsasa.org/>

郵便振替口座: 01740-0-49579

(名義) 日本社会分析学会

◆研究例会の報告と予定

1. 第141回例会(2021年7月24-25日、広島大学)は盛会に終わりました。開催校の皆様と、ご参集いただいた皆様に感謝申し上げます。
2. 次回、**第142回例会は、2021年12月11日(土)-12日(日)、山口大学人文学部(山口市吉田1677-1)にて、山口地域社会学会様との共同開催で開催します。ハイブリッド形式とします。詳細はプログラムとともに次号ニュースでご案内します。なお、コロナ禍や申し込みの状況によって、オンライン開催等に変更する可能性があります。適宜アナウンスしますので、ご注意ください。**

◆第142回例会【研究報告】募集

次回例会で研究報告をご希望の方は、**報告者名、報告タイトル、報告時間を11月19日(金)必着で事務局まで**、お知らせください(郵送または電子メール)。対面のみの場合に報告、ないし、オンラインの場合にのみ報告、というご希望があればその点も明記してください。

報告時間は以下のいずれかを選んでください(指定がなければSとします)。

S: 持ち時間 30分(標準は報告20分+質疑応答10分)

L: 持ち時間 60分(標準は報告30分+質疑応答30分)

また、使用予定の機器を報告申込み時にお知らせください。

◆『社会分析』49号【一般投稿論文】募集中

◎一般投稿論文は、**原稿〆切10月1日**で募集中です。送付先は下記です。

原稿提出期限：**2021年10月1日(金)必着**

原稿送付先：学会事務局(メールまたは郵送で受け付け)

※メールでの投稿の場合は、sasa@jsasa.orgまで、原稿等のファイルを添付の上お送りください。事務局から受付確認のための返信を行いますので、事務局からの返信がない場合はお問い合わせください。

※郵送での投稿の場合は、投稿時には、原稿等の電子ファイルが入ったメディアを送付記録が残る方法でお送りください。また、封筒に「一般投稿論文」とご明記ください(メディアの返送をご希望の方はその旨明記ください)。

◎特集論文については一般投稿の募集はしていません。

『社会分析』へ論文を投稿される方へ

1. 投稿に際しては、『社会分析』表紙裏の「**投稿規定(2019年改訂版)**」を遵守してください。
2. 英語で書かれた論文を投稿される場合には、必ず英語を母語とする方のチェックを受けたいえで、ご投稿下さい。英文タイトルについても、同様のチェックをお願いします。
3. 日本語を母語としない執筆者が日本語で投稿する場合には、必ず日本語を母語とする方のチェックを受けたいえで、ご投稿下さい。日本語タイトルについても、同様のチェックをお願いします。
4. 内容水準以前の形式的な点が守られていない原稿については、受理を保留して差し戻すことがあります。また、差し戻しに対して投稿者から迅速かつ適切な対応がなされない場合には、受理できない場合があります。

論文審査について

投稿された論文はすべて審査者2名による論文審査にかかります。審査者は編集委員ないし会員の中から適当な方をお願いします。編集委員長・特集担当者から依頼が参りますので、よろしくお願ひ致します。審査と改訂はそれぞれ2回までを原則とし、年明け1月末までに編集を終えるべく、おおよそ以下のような日程で動きます。

初回審査(審査員)	4週間以内
→初回改訂(執筆者)	4週間以内
→第2回審査(審査員)	2週間以内
→第2回改訂(執筆者)	2週間以内
→最終的な掲載可否判断(編集委員会、特集担当者)	

審査者には審査論文とともに「論文審査票」をお送りしますので、それにしたがってできるだけ迅速にご協力ください。なお審査に当たっては、投稿者をエンカレッジする姿勢でお願ひ致します。立場や見解の違いは(アドバイスになるようなものは別として)、基本的には論文公開後の論争として展開いただき、審査においては「論文」としての完成度を高めることに主眼をおいていただきますよう、お願ひ致します。

〈書式統一へのご協力を〉

雑誌の書式統一のため、投稿者・査読者には以下の点で協力をお願いします。

- ◆ 投稿者は、投稿規定を遵守すること。(必ず『社会学評論スタイルガイド』をご参照ください。)
- ◆ 査読者は、投稿規定に準じた形式面のチェックも十分に行うこと。
- ◆ 投稿者は初回投稿時、原稿ファイルとともに執筆者情報のファイルを提出すること。
- ◆ 最終的には編集委員会で形式統一を行うので、最終稿の印字イメージと出来上がりイメージが異なることがある。この点をご了承いただきたいこと。

◆2021 年度会計資料

2020 年度決算報告

	項目	予算(円)※2	決算(円)	備考
収入の部	学会費	750,000	727,000	会費 146 件(昨年度 3,000 円多く振込んだ方が 1 名おり、差額分で端数が発生)
	購読料	67,200	65,100	31 件
	利子、その他	25	19	ゆうちょ銀行、福岡銀行
	本年度収入合計	817,225	792,119	
	前年度繰越金	3,834,757	3,834,757	
	総計	4,651,982	4,626,876	
支出の部	雑誌印刷費	400,000	374,480	48 号 200 部 (発送委託費含む)
	編集費	60,000	40,028	編集担当・特集執筆謝金、書評対象書籍代
	通信費	60,000	55,968	ニューズレター・機関誌等郵送代
	事務局費	50,000	51,300	アルバイト費用、振込手数料、zoom pro 契約費用等
	事務委託費	75,000	71,500	ホームページ管理
	例会・会議費	80,000	42,540	例会開催費
	企画事業費	250,000	36,690	シンポジウム経費等。コロナ禍における出版企画研究支援費は申請なし。
	予備費	40,000	20,000	社会福祉系学会連合会費
	本年度支出合計	1,015,000	692,506	
	次年度繰越金	3,636,982	3,934,370	
	総計	4,651,982	4,626,876	

※収入・支出とも 2021 年 7 月 8 日締。

※2021 年 12 月 5 日の総会（オンライン）でご承認いただいた修正予算案をベースにしている。

監査報告

会計帳簿、預金通帳、現金、その他関係証拠について精査しましたところ、適正に処理されておりましたことを報告いたします。

2021 年 7 月 16 日

会計監査 山下 亜小枝



会計監査 牧野 厚史



2021 年度予算案

	項 目	予 算 (円)	備 考
収 入 の 部	学 会 費	700,000	会費 140 件
	購 読 料	67,200	32 件
	利子、その他	25	ゆうちょ銀行、福岡銀行
	本年度収入合計	767,225	
	前年度繰越金	3,934,370	
	総 計	4,701,595	
支 出 の 部	雑誌印刷費	400,000	49 号 200 部 (抜刷、発送委託費含む)
	編 集 費	60,000	編集担当者経費、特集謝金、書評対象書籍代
	通 信 費	60,000	ニューズレター・機関誌郵送代
	事務局費	50,000	アルバイト費用、振込手数料、zoom 契約
	事務委託費	75,000	ホームページ管理
	例会・会議費	80,000	例会開催費、理事会費
	企画事業費	550,000	シンポジウム経費等、出版経費
	予 備 費	40,000	社会学系コンソーシアム会費、社会福祉系学会連合会費
	本年度支出合計	1,315,000	
	次年度繰越金	3,386,595	
	総 計	4,701,595	

◆会員異動 (届出順、敬称略)

●入会 (※印は次回総会で承認見込み)

清水 夕希菜

所属：四国地方更生保護委員会、研究分野：福祉社会学

唐 麗敏

所属：九州大学大学院人間環境学府、研究分野：人間共生システム

橘 直子

所属：九州大学大学院人間環境学府、研究分野：人間共生システム

宮崎 真弥

所属：九州大学大学院人間環境学府、福祉社会学

※易 朗韻

所属：九州大学大学院人間環境学府、研究分野：人間共生システム

※藤田 智子

所属：九州大学大学院比較社会文化研究院、研究分野：家族社会学・ジェンダー論・オーストラリア研究